

教 区 報

山 口

発行／「御同朋の社会をめざす運動」山口教区委員会
編集／広報部

No. 215

2019(令和元)年
10月

CONTENTS

- 総局巡回・公聴会
- 子ども・若者ご縁づくり連絡協議会
- 平成30年7月豪雨一周忌法要
- 第39回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要
- 2018(平成30)年度山口教区一般会計
歳計決算並説明
- 各種行事報告/案内
- 別院・教区行事予定



「平和の鐘」の打鐘 9月18日 13時15分～

親鸞聖人御誕生850年 立教開宗800年についてのご消息披露 総局巡回・公聴会

9月10日(火)、第25代専如ご門主の「御消息披露式典」並びにご消息趣旨演達を行うため総局巡回が実施された。また、賦課基準の見直し、僧侶育成体系プロジェクトについてご意見をいただきたいとして公聴会が併催された。宗派より山下義円総務をはじめ弘中貴之副総務、吉村隆真特命布教講師、宇野哲哉重点プロジェクト推進室部長、岡田義宣所務部(財務担当)部長が出向され、教区内より96名が出席し、山口別院にて開催した。



吉村隆真氏



山下義円総務

第1部 御消息披露式典

第1部では、「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年についてのご消息」が山下義円総務より披露・伝達・趣旨演達され、併せて、特命布教講師 吉村隆真氏(熊本教区託麻組良覚寺)より法話をいただいた。

第2部 公聴会

第2部の公聴会では、中村祐順教務所長、山下義円総務が挨拶され、西谷慶真教区実践運動委員会副委員長を座長とし、進行された。まず、宇野哲哉重点プロジェクト推進室部長より親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要の意義、「子どもたちの笑顔のために募金」の奨励、「得度式規定」「教師規定」「布教使課程設置規定」等の制定について報告がなされ、引き続き協議事項について意向説明があった。

① 賦課基準の見直しについて 【2020(令和2)年度実施】

宗報8月号に掲載された「賦課基準の見直しについて(中間答申)」を基に、2020(令和2)年4月から実施される賦課基準の見直しについての説明がなされたほか、記載内容の補足として、あくまでも中間答申であるということ、また一部内容については全教区に適応されるものではないという説明があった。

② 僧侶育成体系プロジェクトについて(住職・坊守)

寺院の持続的な発展を導く人や協働する人の研修「寺院サポート講座(仮称)」「(案)、さまざまな状況下にあるすべての坊守が、住職と協働するため、必要な知識と技能の修得及び継続した学びの場をサポートする「坊守サポート制度(案)」についての説明がなされた。



弘中貴之副総務

なお、各協議事項については、全教区で開催される公聴会の意見を集約し、プロジェクト委員会で精査をするということ、今回の説明が全てではない旨の報告があった。
一時休憩を挟み、出席者との活発な質疑応答が行われ、教区からの意見として持ち帰り検証する事となった。

子ども・若者ご縁づくり連絡協議会 9月11日(水)開催 各協議内容意見集約

「子ども・若者ご縁づくり連絡協議会」が山口別院にて開催され、教区内各組より38名が参加した。協議会では、組、寺院において「子ども・若者」へのご縁づくりをどのように行っているか？実践できていないのなら何が問題、課題であるのかを共有し、具体的な解決策を探っていくことを議題とし、参加者を4班に分け、教区委員を進行役に班別協議を行った。そこで出た意見を集約し下記に掲載する。各組・各寺院の今後の教化活動の参考にさせていただきたい。

① 山口教区子ども・若者ご縁づくり推進委員会が作成した「しおり」について

〈宣伝や仕様〉

- ・印象に残っていない
- ・教化団体へのアピール不足
- ・寺院から門信徒に伝わらない
- ・配る機会がない
- ・QRコードに馴染みがない
- ・対象者がわからない

〈提案〉

- ・若者の集まる除夜会などで配布
- ・デザインの研究
- ・SNS活用の研究
- ・しおりではなくコレクションカード

② 2018年度に中止となった「軽音フェス」について

〈宣伝〉

- ・知らなかった
- ・伝える機会がない
- ・出演者、参加者のどちらが募集対象かわからない
- ・子ども若者ご縁づくりの取組みが組の中心になっていない
- ・組会の議題にもならなかった

〈企画内容〉

- ・開催日の問題はなかったか
- ・運営側で出演者を確保すべきであった
- ・中高生より壮年層バンドの方が出やすいのでは
- ・対象者が限られているので集めにくい
- ・設備の問題と中高生は移動の問題もある
- ・お寺(別院)が重く受け止められたのでは
- ・お寺で音楽することに魅力がないのでは
- ・個人情報問題などで学校には働きかけにくい
- ・企画はとも良かった。計画と実施のステップの問題
- ・面白い企画だと思っていたので中止は残念。反省を踏まえもう一度考え直してみてもいい

〈提案〉

- ・親世代も来てくれるフラダンス等、集客力がある企画を
- ・お祭りが良い
- ・ビッグゲームのゲストを呼ぶ必要もある

③ 組または寺院で考えられる今後の活動および既に取組んでいる事柄について

〈教区・組での取り組み〉

- ・別院で子ども食堂、教化団体の協力を仰ぐ
- ・組で寺コン
- ・仏青主催の寺ピクへ参加(まずは今ある行事に参加を！)
- ・教区少年大会、子ども報恩講へ組キッズサンガとして参加
- ・寺院子弟行事への参加(強制)
- ・組で中高生大会
- ・3月に修了式(表彰式、記念品あり)
- ・夏休み自由研究や宿題の手伝い
- ・組で仏青単位を作りたい
- ・著名人の話を聞くスクールナードラマを組でも行いたい
- ・全教化団体合同で「花まつり」を行う
- ・近隣組、他宗派も交えて小月組で花まつりを行っている

〈寺院での取り組み〉

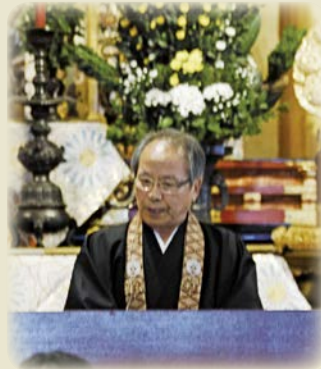
- ・不登校の子どもの居場所に
- ・中高生ボランティアを募集
- ・年末大掃除で焼き芋
- ・オリピックライブビューイング
- ・除夜会で本堂にお参りした若者に作法を教えている
- ・日曜学校が難しいなら夕方だけ預かる(学童)
- ・揭示伝道、通学路は子どもの目にとまる
- ・受験生が自由に勉強できるスペースとして本堂を開放
- ・デイサービスと連携して法座の際に協力してもらう
- ・献灯、献花を子どもに願う
- ・短い時間設定など法座のあり方を工夫する
- ・毎朝、見回隊として交差点にたち挨拶をする
- ・場所を提供して使ってもらう「お寺喫茶」
- ・住職がいなくてもできることをスタッフで
- ・お坊さんと仲良くなるがヒント
- ・法座とは別に夏まつりや忘年会など気楽に参ることのできる行事を考える
- ・子どもたちの話し相手になれるお寺、電話、SNSなどでも話を聞いてあげられるように

平成30年7月豪雨1周年法要



中村正美氏

昨年発生した「平成30年7月豪雨」によって、中・四国地域の広い範囲で災害が発生し、山口教区内でも2名のご門徒がご往生され、岩国市・光市・周南市などは、河川の氾濫により甚大な被害が生じた。この水害から1年にあたる7月12日、本願寺広島別院においてご門主様ご臨席のもと、第4連区合同で「平成30年7月豪雨1周年法要」が営まれ、山口教区からは被災地域を代表して宇野英融・玖珂西組組長が出勤されたほ



朝枝暁範氏

か、被災をされた玖珂西組・熊毛組・熊濃組の方々や門徒推進員等、15名がこの法要に参拝した。

法要後、被災地の現状を呉市安浦町市原地区自治会長 中村正美氏が報告され、その後安芸教区布教団副団長 朝枝暁範氏にご法話をいただいた。

本年度も「令和元年8月九州北部豪雨」をはじめとする規模災害が頻発している。被災された方々に寄り添えるように、継続的に支援していくことが重要であると感じられた。



「平和の鐘」の打鐘

9月18日、第39回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要が勤められた。この法要は、先のアジア・太平洋戦争により命を落とされた方々、それは国籍や思想・信条などをこえたすべての戦没者を追悼し、かつて日本の侵略戦争に協力した私たちの宗門の過ちを反省し、慚愧の思いをもつて、戦争のない世界を築くという願いのもと、平和への誓いを新たにすることを目的としている。また、この恒久平和の思いが、仏のみ教えとともに国内外に響き渡ることを願い、法要中

千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要・平和の鐘



被爆した第五福竜丸

の「平和の鐘」の時刻にあわせて、各寺院においても梵鐘や喚鐘を撞く取り組みを行なっている。

教区では、この法要に併せて団体参拝を実施。法要の翌日に夢の島公園にある第五福竜丸展示館を見学し、水爆実験による影響が現在もなお続いていることなどお話を聞きました。

今年で、終戦から74年を迎え、戦争を知らない人々が多くなる中で、非戦・平和について学びを継続することの大切さをあらためて感じた。

臨時教区会開催

去る7月11日(木)に、別院大会議室において、2019年度臨時教区会(児玉正悟議長)が開催され、提出された財務承認議案・承認議案は、原案通り可決された。議案は次の通り。

【財務承認議案】

2018(平成30)年度一般会計歳計決算・特別会計歳計決算(寺院災害見舞金会計・伝道車購入積立金会計・平衡資金会計・子ども・若者ご縁づくり推進費会計)

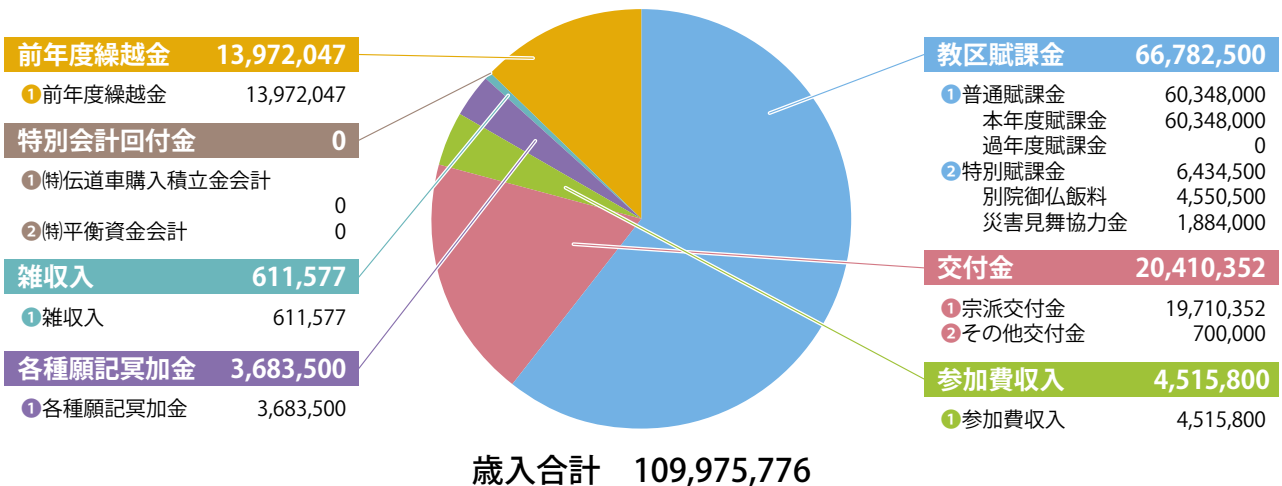
【承認議案】

山口教区内護持口数調整について

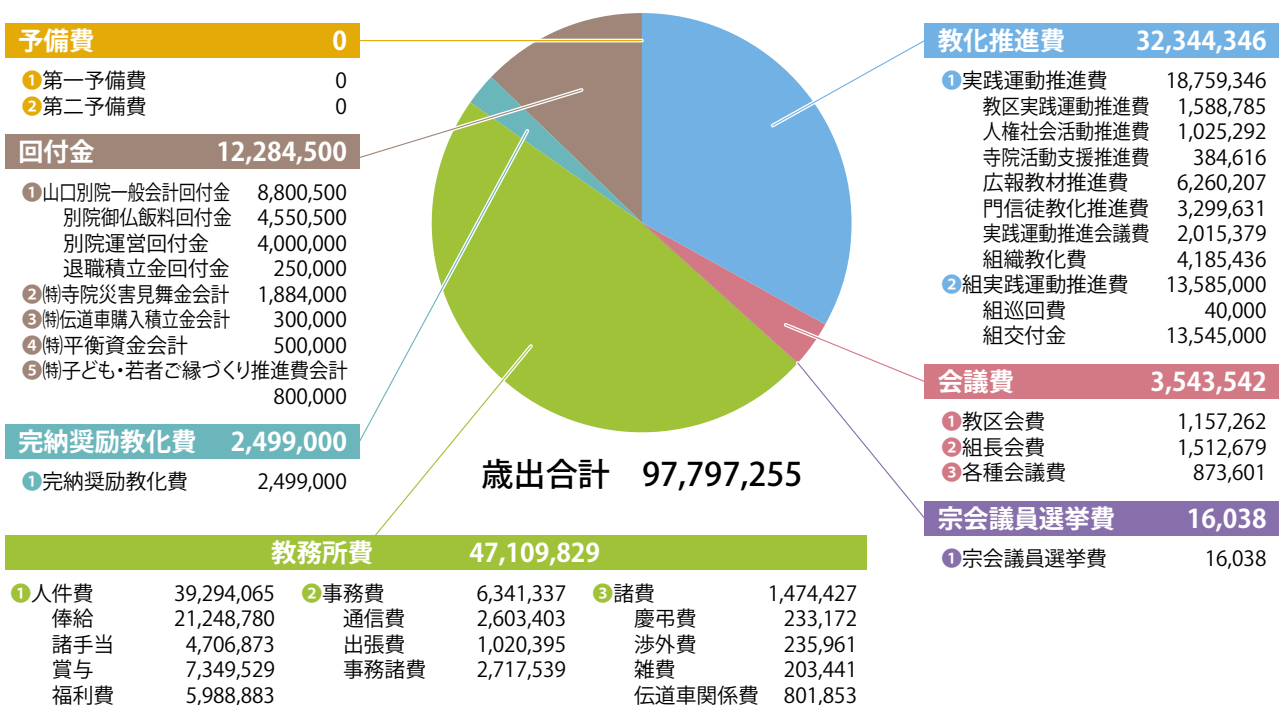
2018(平成30)年度 山口教区一般会計歳計決算並説明

自 2018(平成30)年 4月 1日 至 2019(平成31)年 3月 31日

歳入の部 (単位:円)



歳出の部 (単位:円)



～結ぶ絆から、広がるご縁へ～

山口教区寺族青年会「若朋会」主催
BBQ&レノファ山口観戦ツアー

6月22日(土)開催

山口市維新公園を会場に「若朋会」第1回例会としてBBQ &レノファ山口観戦ツアーが開催された。今回は会員相互の交流や「若朋会」の周知を目的に広く案内をし、会員や寺族、門信徒合わせて30名を超える参加があった。



食後の言葉



レノファ山口観戦

加者が多く、子ども同士の交流も深まり、参加してくれた子どもたちが率先して食後の言葉を唱和してくれた。

19時キックオフの試合はFC岐阜戦で、応援の甲斐もあり結果は4対0でレノファ山口が勝利した。大変有意義な時間となった。

「若朋会」サマーキャンプ
第49回寺院子弟研修会

8月18日(日)〜19日(月)開催

本年度の寺院子弟研修会は宇部市・山陽小野田市を主会場に行われ、8名の子どもたちが参加した。

山口別院での開会式ののち、バスにて宇部小野田組浄円寺に参拝し、焼香などの作法や、「讃仏偈」のお勤めの研修を行った。また、おてらおやつクラブへの



おてらおやつクラブへの協力

協力のため、関係寺院より集めたお供え物のお下がりや梱包する作業を子どもたちに手伝ってもらった。持参したお弁当で昼食を済ませた後は、お待ちかねのプールへ移動。子どもたちは大いにはしゃいでいた。その後は宿泊先の山陽小野田市きらら交流館へ向かった。研修室に設置したご本尊の前に、皆でお夕事をしたあと夕食をとった。施設には温泉もあり、子どもも大人も楽しんでいった。

2日目は別院にて、腕輪念珠を作った。大人も苦戦しながらなんとか完成させ、その後は昼食のカレーを子どもたちが中心になり作った。皆でカレーを食べ、閉会式の後解散となり、友達との別れを惜しむ子など、それぞれが交流を深めていた。

第21回仏教讃歌のつどい

7月7日(日) 開催

毎年、山口仏教音楽連盟加盟 団持ち回りで開催されている「仏教讃歌のつどい」。本年度はライトコール・アンサンブル(宇部北組寶林寺)お引き受けの元、不二輪送機ホール(山陽小野田市文化会館)を会場に開催され、加盟団員含め498名が来場した。

開会式では寶林寺 市川幸佛住職の調声による衆会、敬礼文、三歸依、さんだんのうた、念仏のお勤めがあり、各団のコンサートへと移った。

第1部、第2部が全て終了し、全員での全体合唱。曲目は本年度の課題曲「弥陀の名号となえつつ」と昨年度第20回を記念してつくられた「つながるいのち」。ピアノ伴奏に加えてフルー



全体合唱

トの伴奏もついたほか、あそか合唱団(宇部小野田組教念寺)、コール野の花(宇部小野田組光安寺)の団員も登壇し、賑やかな音色を会場に響かせた。

門信徒の高齢化や地域の過疎など、寺院を取り巻く環境が変化する中、お寺が地域のコミュニケーションとあり続けるためにも、このつどいを継続して行きたい。

若婦人のつどい

7月12日(金) 開催

若婦人会員の育成を目的に「若婦人のつどい」が「笑」と「歌」をテーマに山口別院で開催され、221名の会員が参加した。

午前の部は仏教漫才イベント「わろてら!」。大阪教区の僧侶毛利浄香氏と元漫才師で、尼崎市役所職員の桂山智哉氏の二人が、仏教、真宗にまつわる豆知識や誤用の多い言葉の解説を漫才にのせることで、わかりやすく参加者に伝えていた。



桂山氏(左)と毛利氏(右)



ちひろ氏のトークライブ

午後からは県内外で活躍中のシンガーソングライター・ラジオパーソナリティ ちひろ氏をお招きし、金子みすゞさんの詩や歎異抄を題材とした歌に聞き入った。

初めておみのりに触れる方でも参加がしやすい、楽しく、朗らかな雰囲気の中、本研修は閉じられた。

豊浦組 徳應寺 日曜学校 第43回正力松太郎賞 受賞

2018年9月から12月にかけて公募された「第43回正力松太郎賞」において、豊浦組徳應寺日曜学校が受賞した。

正力松太郎賞は全国青少年教化協議会が、仏教精神に基づき青年・幼児の健全な育成に貢献した個人・団体に与える賞。



参加者全体の集合写真

本賞の受賞をうけ、7月14日に

徳應寺にて受賞祝賀パーティーが催された。徳應寺日曜学校では月1回の定例会のほか、平成元年より毎年3月、日曜学校を卒業する

小学校6年生を主役に仏教童話などの題材を用いた卒業記念創作劇を上演している。パーティーには日曜学校の卒業生やその家族、また劇の制作に深く携わった方々が

参加し、第1回からの記録映像を見ながら回顧していった。

第31回までの映像を見終わり、戸崎文昭住職より総括のご挨拶があり「最近、劇に出演しているみんなが阿弥陀さまの化身となつて、阿弥陀さまのお慈悲を伝えてくれているように感じます。出演者のみんなや演出の方、台本を書いてくださる方、そしていつも無理を聞いてもらっている裏方の

方々、本当にたくさんの方々が集まって、みんなの心が一つになって物語を作り上げていく。この素晴らしいさは代え難いものがあるように思います。31作見てきました

がそれぞれに思い出があります。これからも元気なうちは続けていきたいと思えますし、みんなが仏さまのみおしえに触れるためにも、是非これからも仏さまの手足となつてここで劇をやってほしいなど思えます。」とお話しされた。

その後は境内での食事会。そこで戸崎住職が話されていたのは「垣根を作つて隔てない」ということ。参加者の方々とお話をさせていただく、総代さんや仏壯、仏婦の方々も多く、またお寺の幼稚園卒業がご縁で参加しているという方や、ご門徒の友人で田布施町から来られている方など幅広い方々の参加があり、みんなが和気藹々と懇親を深めていた。日曜学校は教化団体で言えば少年連盟に当たる。しかし、そこには子ども



戸崎文昭住職のご挨拶

やその家族以外にもたくさんの方々が携わっている。仏婦連盟や仏壯連盟も、教化団体として分けて考えるのではなく、お寺という大きな枠組みの中で各々が何ができるのかを考え行事に参画することで、横のつながりを強固に、そして気兼ねなく協力ができるようになる。別組織を一緒にしてしまふことは煩雑であるが、それ以上に得るものが多くなると感じられた。

本願寺山口別院『報恩講』

期日 11月25日(月)『帰敬式』…午後1時から

11月26日(火)・27日(水)・28日(木)…午前10時から・午後1時から

講師 安藤光慈氏 (本願寺派布教使・宮崎教区真光寺)

※お^{とき}齋をご用意しております。有縁の方お誘い合わせ、お参り下さい。

組別参拝日

[26日]

岩国組、玖珂西組、下松組、山口北組、美祢西組、萩組、大津西組、邦西組、豊田組、下関組

奉仕組 熊毛組

[27日]

熊毛中組、熊南組、熊濃組、防府組、華松組、美祢東組、大津東組、白滝組、小月組、豊浦西組

奉仕組 大島組

[28日]

美和組、柳井組、岩国北組、周南組、山口南組、宇部小野田組、厚狭西組、阿武組、須佐組、豊浦組

奉仕組 宇部北組

※組割指定日以外のご参拝も受け付けております。各組事務所へその旨お届けください。

本願寺山口別院『元旦会』のご案内

日時 2020(令和2)年1月5日(日曜日)午前10時から
法要終了後、新年互礼会を催します

場所 本願寺山口別院

講師 本願寺山口別院 輪番

申込 新年互礼会準備の関係で、2020(令和2)年1月2日迄に山口別院に申し込み下さい。

本願寺山口別院テレホン法話 083-973-0111 担当者一覧

期間：2019.10.1～2020.1.31

期日	氏名	期日	氏名
10月 1日～10日	工藤 顕樹	12月 1日～10日	寺田 弘信
11日～20日	杉山 恵雄	11日～20日	中村 隆教
21日～31日	波佐間正弘	21日～31日	厚見 崇
11月 1日～10日	筑波 敬道	1月 1日～10日	輪 番
11日～20日	原田 英真	11日～20日	佐々木世雄
21日～30日	石丸 涼道	21日～31日	和 隆道

※上記の青年布教使による各3分の法話が聞けます。諸事情により、順番が変更される場合があります。

別院・教区行事

Calendar of events from October 1st to 31st, listing dates, event names, speakers, and locations. Includes events like '50th Anniversary of the Yamaguchi Diocese Women's Conference' and 'Research for the Future'.

敬 弔

Table of obituaries listing names, dates of death, and locations. Includes names like 生前のご遺徳を偲び, 謹んで敬弔の意を表します, 令和元年6月〜8月.

参 拝 者

教区外から次の方々でご参拝下さいました。 9月4日 北豊教区築城組 法輪会

お 知 ら せ

郵便払込料金ならびに宅配運賃の増額に伴い、書籍・ご法物の送料を左記のとおり改定いたします。ご理解ください。 改定額 500円 ↓ 700円 ※教区内宛、宅配業者利用 ※少量の場合は郵送料実費 適用日 2019(令和元)年 10月1日より



この夏が始まる頃、布教使の中島昭念先生がうさぎを飼い始められました。なむちゃん、なむちゃんとなえ、大層可愛がられている様子。日々の布教の癒しに、耳が垂れた小さなうさぎは大活躍のようです。 うさぎの睡眠時間は約8時間と言われています。先生は4〜5時間程度で朝2時頃には起きて本を読まれているそうです。 皆さんは読書されていますか？

本願寺山口別院・山口教区教務所 〒754-10022 山口県山口市小郡花園町3番7号 TEL 083(973)4111 FAX 083(973)4631